

- 有限会社ファーマーズ・クラブ赤とんぼは、地域の作物にあった利用しやすい堆肥を供給するため、ストックヤードを設置し堆肥を製造保管。利用者の需要に応じた堆肥として地域内で利用を促進。

■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称

- ・牛ふん主体の混合堆肥
- ・鶏ふん
- ・もみ殻

- ・種類：特殊肥料（堆肥）
- ・名称：赤とんぼ堆肥

■ 作物

- ・水稲
- ・飼料用作物  
など

■ 主成分の含有量 (%) ・特徴等

|                           | N   | P   | K   |
|---------------------------|-----|-----|-----|
| 赤とんぼ堆肥 3:1<br>(牛ふん3:鶏ふん1) | 1.7 | 3.7 | 3.7 |
| 赤とんぼ堆肥 1:1<br>(牛ふん1:鶏ふん1) | 1.9 | 5.0 | 4.2 |

※堆肥の性質上、成分値は時期等により前後します。

■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

- ・ファーマーズ・クラブ赤とんぼ構成員では、堆肥の利用に当たり、家畜ふんの種類や含水率、肥料成分等がバラバラのため、地域の作物にあった堆肥の確保が困難となっていた。
- ・また、農家の高齢化に伴い、堆肥散布に係る作業負担が課題となっていた。

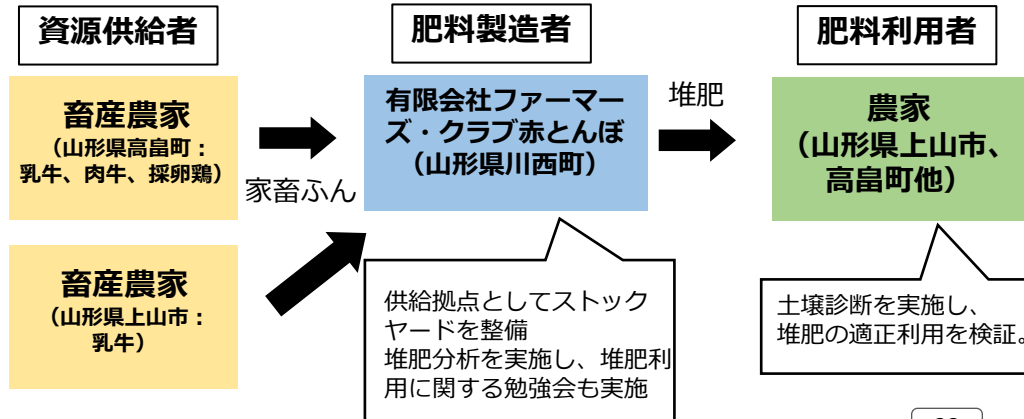
取組の内容

- ・堆肥の製造施設・供給拠点として2カ所にストックヤードを整備し、堆肥利用者の需要に応じて、散布時期や量等を調整し、耕種農家が使いやすい良質な堆肥製造のため、一時発酵処理を高度化。
- ・さらに、年間を通じてばらつきの少ない原材料供給のため分析検証を実施。

成果（見込み）

- ・ストックヤードの分散配置により、堆肥の移動距離の短縮（往復約1時間）が可能となり、散布面積の拡大が見込まれる。
- ・堆肥製造・混合作業の分担を行い、併せて堆肥散布の準備を進めることが可能。

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

課題・受け入れ堆肥の更なる品質向上

- ・散布体制（春・秋・冬への分散）の整備

取組・堆肥散布圃場のデータ（散布量・生育・収穫量・食味など）蓄積による資源の効率的な活用の検討

- ・稲作以外（飼料作物・果樹・野菜）への活用拡大 等



堆肥散布の様子



堆肥供給拠点  
(ストックヤード)



堆肥利用勉強会  
の開催